

好きな飲み物を観点に給食班を作る活動を通して、

友達との好みの共通点や違いを知る楽しさを味わわせる指導計画 <伊賀良小学校>

1 単元名・学年 「好きなものを伝え合おう」(Hi friends! 1 Lesson 4) ・5年

2 単元設定の理由

< 児童の実態 >

○外国語の授業が楽しみ

- ・友達とのコミュニケーションを楽しむ。
- ・覚えた英語を活用したり、選択したりすることを楽しむ。
- ・新しい知識に触れることが楽しみ。
- ・ゲームやチャンツ・歌が好き。

課題①

もっと話したい・仲良くないたい

生活全般:

関わりを求めているが、きっかけが見つからないでいる。

課題② 友と最後まで、

丁寧に向き合うことが苦手

外国語授業:

ゲーム活動の中で、結果へのこだわりから、“Thank you” “Good bye”が疎かになってしまう児童がいる。

<学級活動の中で>

手だて① 毎日変わる給食グループ

「今日はみんなで円になって食べよう。」「今日は、好きなスポーツ」と、給食の隊形・メンバーを毎日変えて、楽しんでいる。

課題③ 友達が決めてくれればいよいよ

提案者が限定されつつあり、学級活動に対して、人任せになっている児童が少なくない。

<本単元のもつねらいや価値>

単元: **好きなものを伝え合おう (Hi friends! 1 Lesson 4)**

「I like ~. / I don't like ~.」「Do you like ~?」「Yes, I do. / No, I don't.」

・「好き」「きれい」は、児童にとって、自分の思いを表現しやすく、興味をひく題材である。

本学級における単元の目標: **英語を使って、8日間の給食グループ(お題「好きな○○」)を作ろう。**

・“Do you like ~?” “Yes, I do. / No, I don't.”を使った情報交換の必然性が生じ、好きなものの尋ね方・答え方に慣れ親しむことができる。

本時における手だて:

手だて①: 8回の活動のくり返し
その中で、「～さんと全て同じで、好みは似ているな。～さんは、一回も一緒にいなくて、意外だった」などの気づきへ

手だて③

各班ひとつずつ、「好きな○○」を提案する。

手だて② “Do you like ~?” に対し “No” で終わらず、自分のもっている友達の情報を伝える。

これにより、インフォメーションギャップの成立。

<願う児童の姿>

友達と“知り合う”

8回の活動のくり返しの中で、友との共通点や違いを楽しむこともできる。

一人ひとりの所属感の高まり

自分の提案が、学級活動に位置付いていることを実感することができる。

最後まで丁寧に、気持ちをこめて、相手と関わることができる。

3 単元の具体目標

観 点	目 標
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	好きなものや嫌いなものについて聞き合う活動に楽しく取り組み、英語を介して友達とかかわろうとする。
外国語への慣れ親しみ	好きなものや嫌いなものを表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。
言語や文化に関する気づき	英語での好きなものや嫌いなものの言い方を知り、日本語と同じ言い方をするものや、全く異なる言い方をするものがあることに気づく。

4 教材（素材）研究

- ① 話題:好きな○○
- ② 場面:英語を使って、8日間の給食グループを作ろう。
- ③ 表現:I like ～. / I don't like ～.
Do you like～?
Yes,I do./ No,I don't.
- ④ 主な語彙 果物、動物、食べ物、スポーツ（以上、補助教材より）、他、人物など
- ⑤ 本単元で扱う主な活動

活動名	掲載ページ	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時
おはじきゲーム(ゲーム化はしない)	14, 15	○				
ビンゴゲーム			○		○	
カルタゲーム		○	-----	-----	-----	→ どこかで
キーワードゲーム		○	-----	-----	-----	→ どこかで
Let's chant① I like apples.	16	○				
Let' Listen 1 線結び	16	○				
Let's chant② Do you like apples?	17		○	○アレンジ		○アレンジ
Let' Listen 2 ○×表うめ	17		○			
チャンツ CD 「○じゃなくて△」		○	—————→			
イングリッシュバスケット (時間外)						
これまでの Lesson の復習 (Hello song, 10(20)steps, How many balls?)		いずれか ○	—————→			

5 単元展開の概要

時数	学習活動	教師の指導・支援	評価の観点	教材
1	来週からの給食グループを、英語を使って作ることを確認する。 【単元を通した活動目標】 今までにやった「好きな○○(果物、スポーツなど)」を、英語でどう言うか聞き、発音する。 【聞く、口まね】	来週からの給食グループ(お題「好きな○○」)を英語を使って作ることを提案する。 児童がすでに外来語として触れている語を中心に取り上げる。		P14. 15 チャンツ CD

	<p>自分の好きなもの、きれいなものを英語でどう言うか聞き取る。 【聞く】</p> <p>Let's chant① I like apples. をする。 【聞く・口まね】</p> <p>Let's Listen 1 誰が何を好きか線で結ぼう。 をする。 【聞く・口まね】</p>	<p>どんなことを英語で言えると、給食グループができそうか問い、必要感をもって取り組めるようにする。</p> <p>「ドラえもん」を例に出す。</p>	<p>日本語と英語の音の違いに気づき、好きなものや、嫌いなものを表す表現を知る。</p>	<p>P16</p> <p>P16</p>
2	<p>Let's chant① I like apples. と、チャンツ CD で、前時扱った単語や表現を使うことに慣れる。 【聞く・口まね】</p> <p>Let's chant② Do you like apples? を聞き、グループ作りに必要な、相手に好きなものを尋ねる言い方・答え方を知る。 【聞く】</p> <p>Let's Listen 2 好きなものには○、嫌いなものには×を書き、表を完成させる。 【聞く・口まね】</p> <p>「○○先生のお好みを知ろう」をテーマに、BINGO ゲームをし、Do you like～? Yes,I do./ No,I don't. の表現を練習する。 【聞く・口まね】</p>	<p>チャンツで英語のリズムや音を楽しみ、授業の始まるの雰囲気をもたせるようにする。</p> <p>○○先生が Yes と返ってきてそうなものを予想して、ビンゴカードに単語を入れるよう説明する。</p>	<p>好きなものを尋ねたり、好きか嫌いかなど答えたりする表現を知る。</p>	<p>P16</p> <p>チャンツ CD</p> <p>P17</p> <p>P17</p> <p>リズムーナビンゴカード</p>
3 4 5	<p>Let's chant② Do you like apples? (アレンジ版)や、チャンツ CD で、これまで扱った単語や表現を使うことに慣れる。 【聞く・口まね】</p> <p>○班が決めたテーマ『好きな○○』で給食グループを作るために必要な単語を、ヌック先生(または担任)に教えてもらう。 【聞く・口まね】</p> <p>「Do you like～?を使って、○班の提案した『好きな○○』で、給食グループを作ろう。」 で仲間を見つけていく。 No,I don't.のときは、知っている友達の情報を教える。 ○○さん like(s)～。 【発話】</p> <p>知り得た情報を発表しながら、グループに分かれ、できたグループを確認する。 【発話】</p>	<p>単語を変えたり、役割分担を交代したりして、楽しんで活動できるようにする。</p> <p>Do you like～?の「～」が日本語であってもいいこと、答え方の場面ではYesやNoだけでもいいことを、全体に確認する。</p>	<p>好きなものを尋ねたり、好き嫌いを表したりする表現に慣れ親しみ、自分や友達の好きなものや嫌いなものについて、積極的に伝え合おうとする。</p>	<p>P17</p> <p>チャンツ CD</p>

6 本時案

(1) 本時の主眼

「好きな“drink(飲み物)”で給食グループを作ろう」と、自分と同じ好みの友達を見つける場面で、AETとのbingoゲームで、好きなものの尋ね方とその答え方、好きなものの伝え方を復習し、それを使って、友達と聞き合うことを通して、自分と友達との共通点や違いを知る楽しさを味わうことができる。

(2) 指導上の留意点

- ・尋ね方の場面では、Do you like～?を使うことを優先するため、「～」に当たる単語が日本語であってもいいことを、全体に確認する。
- ・答え方の場面では、自分の意思を明確に出すことを優先するため、Yes や No だけの表現であってもいいことを、全体に確認する。
- ・できるだけ好みに分かれるテーマを考えるよう促し、担任は事前にテーマと5種類の words を把握しておく。

(3) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応・願う姿	教師の指導・支援・評価	時間
導入	1 Greeting	ア Hello, ○○ sensei. (E:How are you? に対して)I ' m happy / hot.などそれぞれ答える。	英語で元気よく挨拶を交わしたり、チャンツで英語のリズムや音を楽しんだりして、授業の始まりの雰囲気高める。	2
復習	2 Let's chant (ライオンじゃなくてlion)	イ 1回目“listen”、2回目“repeat”だったな。	単なるbingoではなく、対話形式に合わせて口ずさみながら取り組むようにする。 リズムーナ使用 (8ビート tempo96)	3
	3 bingo ゲーム「○○先生の好みを知ろう」	・Do you like～? Yes,I do./ No,I don't. の表現を思い出し、声に出しながら、○○先生の答えがYes だと思ふものを予想して予め書いておいたビンゴカードに、○をしていく。		5
展開	4 本時の目標を知る。	ウ 今日のテーマは何かな。		1
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Today's Goal : Let's make 給食 groups ! ～知ろう！友達の好きな“drink(飲み物)”～</p> </div>				
	5 出てきた飲み物の英語の言い方を知る。	エ ○○先生に、コーラ、オレンジジュース、ぶどうジュース、カルピス、水の言い方を教えてもらおう。	担任は、予めテーマと登場する語彙を確認し、AET と打ち合わせておく。	3
	6 自分の好きな飲み物を選ぶ。	オ ぼくは、水。水は英語で何て発音するのだろう。		2
	7 活動の手順を確認する。	カ 自分の選んだものを使って、“Do you like～?”と尋ねるのだな。 キ 選ばなかったものは、“No”で答えて、“I like ～.” で自分の選んだものを伝えよう。	担任とAETが対話モデルを示しながら、本時のKey Point(注意点)を確認する。	5

		<p>Key Point (注意点):</p> <ul style="list-style-type: none"> •Do you like〜と、Yes/No. I like〜. を使って聞き合おう。 •出会った相手と、“Hello” から“Thank you” “Good bye” まで、丁寧に関わろう。 		
	8 Let's make 給食 groups about “好きな drink”	ク ぼくは、前半が答える人(B)、後半は聞く人(A)だな。 ケ 答える側でも、自分から友達のところに話しかけにいこう。	好みが一致しなくても、後で友達の情報を教えられるように、友達の答えをメモしておくことを確認する。	7
	A,B : (手をふって) Hello. A : Do you like orange juice? B : Yes, I do. / No, I don't. ↓ ↓ I like orange juice. / I like cola. A,B : Thank you. (握手) Good Bye. (手をふる)			全員が、尋ね方と答え方の両方を練習できるように、前半(3分)と後半(3分)で役割を交代する。 (紅白帽子を使用)
	9 できたグループを確認する。	コ 前半出会わなかった人全員に聞けるように頑張ろう。 サ I like Calpis. ○さん like(s) Calpis. (指名されたら、“Yes.”と返事をし、1列に並んでいく。) (続けて一人ずつ指名していく。) シ ▲さん like(s) Calpis. ス Calpis group 完成!	“Please, tell me your group members. Any volunteer?” と問い、最初の一人を当てる。グループメンバーの指名が終わったら、“there more?” と問い、まだ指名されずにいる友達の情報の発表を促す。	10
終末	10 本時の振り返り	セ ○さんとグループが同じだと知らなかったけど、友達が教えてくれてよかった。 ソ 私は、○を好きな人が多いのかなと思っていたけど、▲が意外と多くてびっくりした。 タ この前よりスラスラ“Do you like ~?”と聞いたり、ハッキリと答えたりできてよかった。友達も笑顔で話してくれてうれしかった。	Today's Goal や、Key Point に沿って振り返りを書くように促す。 児童の良い姿を教師も伝える。	6
	11 Greeting	チ Thank you ○○ sensei. See you.	自分の好みを伝えたり尋ねたりしながら、自分と友達との共通点や違いを知る楽しさを味わうことができる。(行動観察・学習カードの記述)	1

(3) 資料

①ビンゴカード: 「(AET の) 先生の好きなものを当てよう」(学習活動3で使用)

②キーポイント: 本時のコミュニケーションで大切にしたいこと(学習活動7で使用)